記者発表資料

平成２３年１０月２７日
東 北 地 方 整 備 局

# 入札監視委員会の審議概要について
# （第一部会第２回定例会議）

東北地方整備局入札監視委員会の第一部会第２回定例会議は、９月２６日（月）に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要（別紙）についてお知らせします。

議事では、委員会が抽出した案件９件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉


問 い 合 わ せ 先

国土交通省　東北地方整備局
（第一部会）　仙台市青葉区二日町９番１５号　　TEL (022)225-2171（代表）

主 任 監 査 官　熊谷（くまがい） 伊佐男（いさお）（内線２１１４）
入札契約監査官　鈴木（すずき） 和弘（かずひろ）（内線２２２０）
契 約 管 理 官　阿部（あべ） 幸太（こうた）（内線２２２２）
技術開発調整官　齊藤（さいとう） 廣見（ひろみ）（内線３１２０）

東北地方整備局　入札監視委員会（第一部会）　審議概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開催日及び場所 | 平成２３年　９月２６日（月）　東北地方整備局　大会議室 | | |
| 委員 | 部　会　長　佐藤　英世（東北学院大学法科大学院教授）〔欠席〕<br>部会長代理　宮原　育子（宮城大学事業構想学部事業計画学科教授）<br>委　　員　京谷　孝史（東北大学大学院工学研究科土木工学専攻教授）<br>委　　員　熊谷　真宏（公認会計士・税理士） | | |
| 審議対象期間 | 平成２３年　４月　１日　～　平成２３年　６月３０日 | | |
| 審議案件 | 総件数　９件　（別紙－１　審議案件一覧のとおり） | | |
| 工事 | 一般競争入札（政府調達） | ０件 | （備考）<br>(1)工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況<br>(2)指名停止等の運用状況<br>(3)談合情報等の対応状況<br>(4)再度入札における一位不動状況<br>(5)低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況<br>について報告を行った。 |
| | 一般競争入札（政府調達以外） | ３件 | |
| | 工事希望型競争入札 | ０件 | |
| | 工事希望型以外の指名競争入札 | １件 | |
| | 随意契約 | １件 | |
| 建設コンサルタント業務等 | | ３件 | |
| 役務の提供等及び物品製造等 | | １件 | |
| 委員からの意見・質問、それに対する説明・回答 | 別紙－２のとおり | | |
| 委員会による意見の具申又は勧告の内容 | 別紙－３のとおり | | |

別紙 － 1

# 審 議 案 件 一 覧

## 【工事】

| 入札方式 | 工 事 名 | 工事種別 | 競争参加資格を確認した者の数 | 入札参加者数 | 契約締結日 | 契約の相手方 | 契約金額（単位：千円） | 落札率（単位：%） | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの） | 寺沢川橋下部工工事 | 一般土木工事 | 3 | 3 | 平成23年6月23日 | (株)橋本店 | 214,725 | 90．7 | 仙台 |
| 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの） | 成瀬ダム国道付替整備工事 | アスファルト舗装工事 | 12 | 12 | 平成23年6月30日 | (株)柴田組 | 53,130 | 86．9 | 湯沢 |
| 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの） | 能代国道維持補修工事 | 維持修繕工事 | 2 | 2 | 平成23年4月1日 | (資)塚本商会 | 178,500 | 99．0 | 能代 |

| 入札方式 | 工 事 名 | 工事種別 | 技術資料の提出を要請した者の数 | 入札参加者数 | 契約締結日 | 契約の相手方 | 契約金額（単位：千円） | 落札率（単位：%） | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 工事希望型以外の指名競争入札方式 | 仙台第4地方合同庁舎（11）建築その他復旧外2件工事 | 建築工事 | 13 | 4 | 平成23年6月24日 | (株)佐々木組 | 121,275 | 89．5 | 営繕部 |

| 入札方式 | 工 事 名 | 工事種別 | | | 契約締結日 | 契約の相手方 | 契約金額（単位：千円） | 落札率（単位：%） | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 随意契約方式 | 北上川下流月浜第一水門緊急復旧工事 | 機械設備工事 | | | 平成23年4月15日 | 三菱重工鉄構エンジニアリング(株) | 60,900 | 暫定契約 | 北上川下流 |

## 【建設コンサルタント業務等】

| 入札方式 | 業 務 名 | 業務分類 | 競争参加資格を確認した者の数 | 入札参加者数 | 契約締結日 | 契約の相手方 | 契約金額（単位：千円） | 落札率（単位：%） | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般競争入札方式 | 最上川ダム統合管理事務所管内ダム管理支援業務 | 土木関係建設コンサルタント | 1 | 1 | 平成23年4月1日 | (社)東北建設協会 | 236,565 | 95．1 | 最上川統管 |

| 入札方式 | 業 務 名 | 業種区分 | 手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数 | 入札参加者数 | 契約締結日 | 契約の相手方 | 契約金額（単位：千円） | 落札率（単位：%） | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 簡易公募型プロポーザル方式 | 田川ダム治水・利水計画検討業務 | 土木関係建設コンサルタント | 4 | 3 | 平成23年4月28日 | (株)建設技術研究所 | 17,798 | 99．8 | 鳴瀬川総開 |

| 入札方式 | 業 務 名 | 業種区分 | | | 契約締結日 | 契約の相手方 | 契約金額（単位：千円） | 落札率（単位：%） | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 随意契約方式 | 月山ダム堤体調査検討業務 | 土木関係建設コンサルタント | | | 平成23年5月23日 | 八千代エンジニヤリング(株) | 10,080 | 99．4 | 月山ダム |

## 【役務の提供等及び物品の製造等】

| 入札方式 | 業 務 名 | 業務分類 | | 入札参加者数 | 契約締結日 | 契約の相手方 | 契約金額（単位：千円） | 落札率（単位：%） | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般競争入札方式 | 平成23年度玉川ダム中和処理設備運転及び点検整備業務 | 役務の提供等 | | 1 | 平成23年4月1日 | DOWAテクノエンジ(株) | 178,500 | 99．0 | 玉川ダム |

別紙－２

| １．報告 | |
|---|---|
| 意見・質問 | 説明・回答 |
| ・なし | |

| ２．審議 | |
|---|---|
| **１　寺沢川橋下部工工事** | |
| ・２４日に指名停止処分を受けた業者が、１６日に入札に参加しているが、問題はないのか。 | ・制度上参加を排除する手立てがない。粛々と手続を行った。 |
| ・形式的に粛々と進めることは分かるが、違和感を覚える。 | ・時機を逸しないよう手続を迅速に行いたい。ただ、例えば労働基準監督署の判断が必要となることもあり、若干の期間を要する場合もある。 |
| ・施工実績として、平成８年４月１日以降の実績としている理由は。それ以前の実績は認められないのか。 | ・整備局共通として過去１５年の施工実績を求めている。それ以前の実績は認めていない。 |
| **２　成瀬ダム国道付替整備工事** | |
| ・入札が無効となっている者が多いが、その理由は。 | ・入札価格が調査基準価格を下回った者に対し追加資料の提出を求めたが、書面により提出しない旨の申し出があったため無効とした。 |
| ・入札価格が似たような金額に集中しているが、どの様に考えているか。 | ・アスファルト舗装が主な工事内容であり、積算基準が公表されていること、工種が少ないことなどからかなり精度の高い積算ができるものと考えられる。 |
| **３　能代国道維持補修工事** | |
| ・この工事は維持補修が主だが、受注者は例えば、交通事故に関連しての清掃や補修等、不定形、不定期なものは、どのようにして積算するのか。 | ・当初の発注形態としては、ある程度年間の工事予定数量が把握できる路面の清掃及び補修、除雪などのみで行っている。交通事故に関する清掃作業等、当初に見込めないものは、最終の数量が確定した段階で、変更契約を行っている。<br>　今年度は、試行として工期を平成２４年８月３１日までの２ヶ年国庫債務負担行為で発注しているが、工種が増えているわけではないので、積算は可能と思っている。 |

| 意見・質問 | 説明・回答 |
| --- | --- |
| ・落札率９９％はかなり高率。過去の落札率は。<br>　また、同種・同類の工事と比べて、特別に高い、安いという特徴はあるのか。 | ・この維持補修工事に関して、過去５年間の落札率を見ると、前年度は９３．４％、前々年度は８７．２％、更に遡ると、７７．０％という低入札の時もあった。<br>　能代河川国道事務所管内の落札率と比べても、９９％という落札率は高くなっている。事務所管内では、もう１件維持補修工事を発注しているが、各々の工種を比較すれば、例えばガードレール補修のように、その工事の積算単価が当方の積算を上回っているものも若干ある。 |
| ・落札率が、かつては低入札になるほど低かったこともあるとの説明だが、業者が段々と業務内容を把握していって、入札の金額を少しずつ上げてきているとは思わないか。 | ・確かに積算の精度は高くなってきていると思われる。ただし、入札に参加する業者は、何者が入札に参加しているか分からない制度になっている。 |
| ・維持管理業務の履行の確認、品質管理はどのようにして行うのか。例えば、道路の補修や清掃は、壊れていたり汚れていたりすれば、補修し清掃するわけだが、それの確認はどうするのか。品質の確保という点ではどうか。 | ・例えば、道路パトロールや一般の方々からの情報提供で、至急補修等が必要なものは、直ちに行っている。<br>　その作業終了後に、全てではないが管理者が立ち会って確認する場合もあるし、写真で確認する場合もある。 |
| **４　仙台第４地方合同庁舎（１１）建築その他復旧外２件工事** | |
| ・入札の辞退者が多いが、その理由をどの様に考えているか。 | ・震災に伴う復旧工事等が地方自治体から多く発注されており、そちらを先に受注しており配置予定技術者の確保も困難なためと推測される。 |
| **５　北上川下流月浜第一水門緊急復旧工事** | |
| ・なし | |
| **６　最上川ダム統合管理事務所管内ダム管理支援業務** | |
| ・受注法人の国土交通省ＯＢの人数は。 | ・常勤の役員４名の内２名。 |
| ・過去５年間、同一の業者が受注しているが、その理由は。参加要件が厳しいのではないか。 | ・民間業者へのアンケート結果を踏まえた国庫債務負担行為を活用しての複数年度契約、参加要件の緩和等様々な取り組みを行い参入しやすいよう工夫しているが、結果として１者のみの参加であった。<br>　ダム管理という特殊性から、経験のない会社は参加しない傾向にあると推測される。 |

| 意見・質問 | 説明・回答 |
| --- | --- |
| ・取り組みが実らずに残念である。<br>受注法人の持っている情報やノウハウの開示について進めているが、更に今後とも尽力をお願いしたい。 | ・未経験業者への指導も含め民間が参入しやすいように様々な工夫を行っているが、ダムが所在する地理的特殊性（山間部等）、業務の持つ特殊性（２４時間体制、緊急性等）から参入が敬遠されているものと考えられる。今後とも新規参入しやすい環境づくりを考えていきたい。 |
| ・３箇所のダムを一括して本業務の対象となっているが、参加しやすい業務規模にすることも含め、発注方法、管理上の特殊性について参加しやすい工夫を発注者として考えることも必要では。 | ・分割して発注することは可能と考えられるが、ただし本業務の持つ特殊性が大きく緩和されるものではないと思慮される。 |
| **７　田川ダム治水・利水計画検討業務** | |
| ・簡易公募型プロポーザル方式ということもあろうが、落札率が９９．８２％と非常に高い。 | ・本業務は標準的な歩掛かりがなく、計画準備や検討に関する項目については、技術提案書の提出があった各者から参考見積書を徴取している。実際の予定価格は、徴取した見積を照査し検討して算出するが、積算項目のごく一部を除けばほぼ一致しており、結果として当方が算出した予定価格と近い見積金額となる。 |
| ・対価に見合う成果品であるという確認はどうするのか。 | ・成果品が契約書及び特記仕様書に基づき作成されているかどうか確認する。 |
| **８　月山ダム堤体調査検討業務** | |
| ・見積合わせの実施回数を記載しているが意図はあるのか。 | ・意図はない。 |
| ・検討後の漏水対策工事も検討業務の受注業者が実施しているのか。 | ・当該業務は原因の調査・対策の検討までが対象であり、工事は非洪水期の１０月以降に別発注の予定。 |
| **９　平成２３年度玉川ダム中和処理設備運転及び点検整備業務** | |
| ・過去に石灰石購入を受注した業者に規則性がみられる。今回の業務は点検整備を受注していた業者が落札したが、何か経緯があるか。 | ・点検業務の当該業者は、中和処理施設建設に関わっていた関連業者。 |
| ・石灰石は、東北地方整備局としてまとめて購入はできないのか。 | ・石灰石は、玉川ダムだけで使用し他の事務所等では使用していない。なお、今年度は、試行的に効率的な維持・管理、設備不具合や非常時に対する迅速な対応等を考え、運転管理、設備点検整備及び石灰石購入をまとめて発注した。 |

別紙－３

| ３．委員会による意見の具申又は勧告内容 |
| --- |
| ・なし |